

Inpadoc
Patent Family Search

DIALOG(R) File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat
(c) 2000 EPO. All rts. reserv.

8894765

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 1236694 A2 890921 <No. of Patents: 001>

PATENT FAMILY:

JAPAN (JP)

Patent (No,Kind,Date): JP 1236694 A2 890921

MANUFACTURE OF CERAMIC BOARD (English)

Patent Assignee: TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO

Author (Inventor): KATSUBE SEIJI; NAKAGAWA NORIKO; OKAMOTO MITSUHIRO;

IWASE NOBUO

Priority (No,Kind,Date): JP 8864048 A 880317

Applic (No,Kind,Date): JP 8864048 A 880317

IPC: * H05K-003/40

Derwent WPI Acc No: ; C 90-150179

JAPIO Reference No: ; 130568E000065

Language of Document: Japanese

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-236694

⑮ Int. Cl.⁴

H 05 K 3/40

識別記号

庁内整理番号

K-8727-5E

⑬ 公開 平成1年(1989)9月21日

存査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 セラミックス基板の製造方法

⑰ 特 願 昭63-64048

⑱ 出 願 昭63(1988)3月17日

⑲ 発 明 者	勝 部	成 二	神奈川県川崎市幸区柳町70番地	株式会社東芝柳町工場内
⑲ 発 明 者	中 川	法 子	神奈川県川崎市幸区柳町70番地	株式会社東芝柳町工場内
⑲ 発 明 者	岡 本	光 弘	神奈川県川崎市幸区柳町70番地	株式会社東芝柳町工場内
⑲ 発 明 者	岩 瀬	暢 男	神奈川県川崎市幸区柳町70番地	株式会社東芝柳町工場内
⑲ 出 願 人	株 式 会 社 東 芝		神奈川県川崎市幸区堀川町72番地	
⑲ 代 理 人	弁 理 士 鈴 江 武 彦		外 2 名	

明 細 書

1. 発明の名称

セラミックス基板の製造方法

2. 特許請求の範囲

スルーホールを有するセラミックスシートに形成されたスルーホールに凸部ペーストを充填する方法であって、多孔質板の上に、セラミックスシートのスルーホールに対応した位置に吸引孔を有する吸引板を重ねて配設し、この吸引板の上にスルーホールを有するセラミックスシートを仮せ、次いで前記多孔質板および前記吸引板の吸引孔を通して前記セラミックスシートのスルーホールに空気吸引力を作用させながら、前記このセラミックスシートの上面でスクリーン印刷を行ない凸部ペーストを前記セラミックスシートのスルーホールに充填することを特徴とするセラミックス基板の製造方法。

3. 発明の課題を説明

(発明の目的)

(従来の利用分野)

本発明はスルーホールを有するセラミックス基板の製造方法に関する。

(従来の技術)

セラミックス基板は回路基板に広く使用され、多口回路基板にも使用されている。このセラミックス多口回路基板は、上下面に貫通するスルーホールを形成したセラミックスシートを用い、これら各セラミックスシートの上面に凸部ペーストにより所定パターンの凸部を形成するとともに、スルーホールに凸部を充填してセラミックス基板を製作し、このセラミックス基板を複数枚用いて上下に積層して接合し、各セラミックス基板のスルーホールに充填した凸部ペーストで上下層のセラミックス基板の凸部を互気的に接合することにより形成したものであり、積層した立体配向を可能として回路基板として高信頼化を図ることができると。

このセラミックス多口回路基板に採用するセラミックス基板は、セラミックスシート(グリーンシート)にプレスによりスルーホールを形成し、

その板でスクリーン印刷によりセラミックスシートの上に凹部ペーストを塗布して凹部を形成するとともに、同じくスクリーン印刷によりスルーホールに凹部ペーストを充填して図作している。

そして、セラミックスシートのスルーホールにペーストを充填する場合には、次の方法が採用されている。すなわち、セラミックスシートのスルーホールと同じ位置に、スルーホールよりやや大径の吸引孔を形成した金口型の吸引板を用意し、この吸引板を印刷台に形成した孔部に水平に配設するとともに、印刷台の下部に孔部を囲おう吸引フードを配設し、この吸引フードを吸引板に接続した管路を使用する。そして、セラミックスシートを吸引板の上に置き、吸引管路を駆動して吸引フードの内部の空気を吸引することにより吸引板の下方から吸引板の吸引孔を通してセラミックスシートのスルーホールに空気吸引力を作用させながら、セラミックスシートの上面でスクリーン印刷を行なってセラミックスシートのスルーホールにペーストを充填する方法である。これは空

気吸引力によりペーストをスルーホールの内部に吸引して確実に充填しようとするものである。

(発明が解決しようとする課題)

しかして、このように凹部ペーストをセラミックスシートのスルーホールに充填する方法においては次に述べる問題がある。すなわち、吸引管路を駆動して吸引フードの内部の空気を吸引する場合に、フードの内部の空気が吸引する圧力が部分的に均一なり、フード中央部の吸引力が外周部の吸引力に比較して大きいことがある。このため、吸引板の吸引口を介してセラミックスシートのスルーホールに作用する吸引力も不均一になり、これに伴いセラミックスシートのスルーホールにペーストを充填する圧力が不均一になり、シート中央部のスルーホールにペーストが充填する圧力が外周部のそれに比較して高くなることがある。このように各スルーホールのペーストの充填状態が不均一なセラミックス基板を使用すると、セラミックス多層回路基板の信頼性を低下させることになる。

本発明は前記課題に就いてなされたもので、セラミックスシート全体にわたるスルーホールに均一に凹部ペーストを充填することができる信頼性に優れたセラミックス基板の製造方法を提供することを目的とする。

(発明の構成)

(課題を解決するための手段と作用)

前記目的を達成するために本発明のセラミックス基板の製造方法は、スルーホールを有するセラミックスシートに形成されたスルーホールに凹部ペーストを充填する方法であって、多孔質板の上に、セラミックスシートのスルーホールに対応した位置に吸引孔を有する吸引板を置かれて配設し、この吸引板の上にスルーホールを有するセラミックスシートを置き、次いで前記多孔質板および前記吸引板の吸引孔を通して前記セラミックスシートのスルーホールに空気吸引力を作用させながら、前記このセラミックスシートの上面でスクリーン印刷を行ない凹部ペーストを前記セラミックスシートのスルーホールに充填することを特徴とする

ものである。

すなわち、吸引管路により外部の空気をセラミックスシートのスルーホールおよび吸引孔の吸引孔を経てポーラスガラスなどからなる多孔質体の内部に存在する多数の気孔を通して吸引することにより、セラミックス基板の全体のスルーホールに均一に空気吸引力を作用させて、各スルーホールに均一に充填することができる。

(実施例)

以下本発明の実施例を図面を参照して説明する。

本発明の製造方法の一実施例を図1図を参照して説明する。

この実施例は、上下面に貫通する複数のスルーホール2を並べて形成した例えばA₁N₂からなるセラミックスシート1を対象としてスクリーン印刷を行なうものである。スルーホール2の直径は例えば100μmである。

まず、セラミックスシート1に対して印刷を行なうための治具として、多孔質板11と吸引板

がら移動させることにより、スクリーン21上のペースト22をセラミックスシート1の各スルーホール2に順次押し込み充填する。セラミックスシート1の各スルーホール2には吸引装置による吸引力が作用しているため、スキージ23により各スルーホール2に押し込まれたペースト22は、さらに吸引力により各スルーホール22の内部に吸引されて充填される。この場合、各スルーホール2には充分な大きさの吸引力が夫々均一に作用しているため、各吸引孔13毎に夫々ペースト22が孔内部全体に充分充填される。すなわち、各スルーホール2にペースト22がバラツキなく均一且つ充分に充填される。なお、吸引装置がセラミックスシート1のスルーホール2に対して作用する吸引力は、スルーホール2の内部にペースト22が充分充填でき、且つ吸引板12の吸引孔13までペースト22が不要に充填されない大きさとする。

また、吸引力によりセラミックスシート1に加わる荷重を吸引板12だけでなく多孔質板11と

組合わせて負担しているため、吸引板12はそれのみセラミックスシート1に加わる荷重を負担する場合に比較して板厚を小さく出来る。そして、吸引板12に対してエッチングを施して吸引孔13を精度良く形成することが可能となる。このエッチングはスクリーン21とを作成する時に同じパターンマスクを使用して行なうことができる。このため、セラミックスシート1のスルーホール2に対して正副に位置を合わせて吸引孔13を精度良く形成でき吸引板12とセラミックスシート1とを固めた場合に、吸引孔12とスルーホール2との位置ずれがなく、吸引孔13からスルーホール2に確実に吸引力を作用することができる。従来の吸引板12は一枚でセラミックスシート1の荷重を負担しているため、板厚を大きくする必要があり、エッチングによる孔明け加工をすることができない。このため、従来の吸引板12に対して機械加工により吸引孔13の孔明けを行なっていたが、この場合にはエッチングに比較して加工精度が劣り取り、セラミックスシート1のスル

ーホール2に対して確実に吸引力を作用させることができない。

なお、多孔質板1の材質はポーラスガラス、多孔性セラミックスの他にスポンジメタルなどの他の物を使用することができる。また、吸引板12は実例のものに限定されず、例えば吸引板に予め多数の吸引孔を形成しておき、セラミックスシート1のスルーホール2に位置に応じて不要なものを樹脂などの充填材料で封鎖して必要なもののみを使用する構成にしてもよい。

本発明の製造方法が対象とするセラミックスシート1にスルーホール2を精度良く形成するためには、次に述べる方法を採用することが好ましい。セラミックスシート1にスルーホール2を形成する場合には、一般に図2図に示すようにプレス装置により打抜き下口を行なっている。すなわち、パンチ孔32を有する治台31の上面にセラミックスシート1を収め、パンチ孔32に図示しない吸引装置により吸引力を作用させてセラミックスシート1を治台1に吸引固定する。そして、上ラ

ム33を下降させて、この上ラム33に取付けたパンチ34で打抜きスルーホール2を形成する。打抜きしたセラミックスシート1の部分1aは治台31のパンチ孔32に落下して吸引され外部に排出される。また、上ラム33にはゴムからなるスカート形の押えカバー35が取付けてあり、上ラム33が下降する時に一体に下降してセラミックス1の上面に接触してパンチ34が打抜きセラミックスシート1の部分を周囲から囲い、スルーホール2を打抜き形成する時にスルーホール2の部分から発生するゴミが周囲に拡散せず、治台31のパンチ孔32に吸引できるようにしている。しかしながら、パンチ孔32に作用する吸引力だけでは、打抜き時に発生したゴミをスルーホール2から確実に取除くことが困難であり、スルーホール2の内部にゴミが付着したままのことがある。そこで、例えば押えカバー35に空気吹き込み口36を形成し、この空気吹き込み口36を図示しない加圧装置に接続しておき、パンチ34がセラミックスシート1にスルーホール2を打抜き形成し

てセラミックスシート1から離れた瞬間に、加圧装置で加圧された空気を空気吹込み口36から押えカバー35の内部に吹込み、セラミックスシート1に打抜き形成されたスルーホール2の内部に付着しているゴミを加圧空気により吹飛ばして蓋台31のパンチ孔32に落下させる。このようにするとセラミックスシート1にスルーホール2を精度良く且つ清浄に形成することができる。

〔発明の効果〕

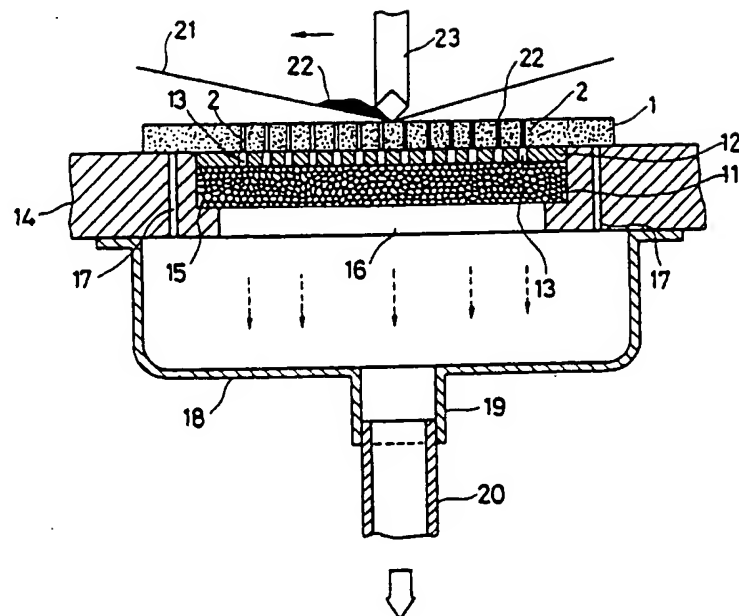
以上説明したように本発明のセラミックス基板の製造方法によれば、セラミックスシートに形成した複数の各スルーホールの内部に、導電ペーストを夫々均一且つ十分な量をもって充填することができ、スルーホールの内部で断線が無い信頼性が高いセラミックス基板を歩留り良く得ることができる。

4. 図面の簡単な説明

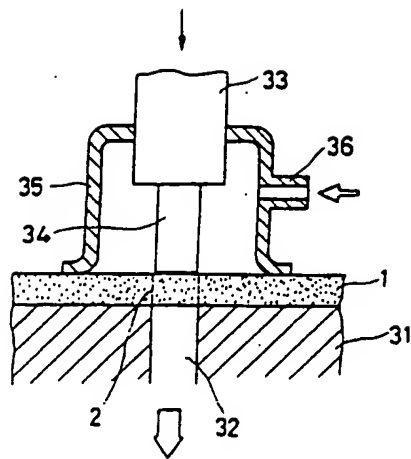
第1図は本発明の製造方法の一実施例を示す説明図、第2図はセラミックスシートにスルーホールを形成する工程を示す拡大説明図である。

1…セラミックスシート、2…スルーホール、
11…多孔質板、12…吸引板、13…吸引孔、
14…印刷台、16…開口部、21…スクリーン、
23…スキージ。

出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦



第 1 図



第 2 図